



ICTの話になると熱くなります。

【社内で積極的にICTを取り入れている瀬戸山さん。】



【やっぱり工事の手順は、現場を直接見てイメージを作るのが重要！】



【毎日、息子とバドミントンに打ち込んでいます！】



【厳しい条件の現場ほど、やる気が湧きますね】



【何事も、自分でやってみないと判らない！】



【機器操作はお手のもの、社内でも真っ先に現場に取り入れました！】



楽になったな “建設業”

(株) 岡崎組 瀬戸山 雄之 入社21年目

工事名：令和元年度 中崎地区法面・舗装外工事

●この仕事を何故、選んだ？

高校生の時に部活動でラグビーをしており、太陽の下で身体を使った動き回りをしていることが好きでした。できれば、将来の仕事は屋外で身体を使う仕事が良いなと思っていました。

●この仕事のやりがいは？

ひと仕事が終わった時の“達成感”は確かにあるが、計画時にどれだけ“完成までの過程”をイメージし、無事故で完成に導くかを考えることも“やりがい”です。そのため「誰でもわかる資料づくり」を探求したら3次元化に行き着きました。今は、いろんな勉強をしつつ「新たなことに取り組める」ことが、仕事の“やりがい”と魅力になっています。

●現場での職場環境は？

20年前からするとすごく変わりました。以前は17時に帰宅することなんか“ほとんどなく”、平日に自分の時間をつくることはほぼ困難でした。今は、仕事の簡素化で作業量が減ったこともありますが、反面では「仕事の生産性の向上」を図るため、いかに時間を有効に使い作業を短縮できるかなど、時間に対する考えが変わってきました。

●就職に悩んでいる若者に一言

建設業の技術職として20年間携わってきましたが、手書きで図面を書き、フィルムカメラで現場写真を撮影していた時代からすると、図面は「3次元」で表現でき、写真も電子黒板などいろんなことが進化してきました。これからも「進化するのが建設業」であり、自分の子供にも自信をもって薦めることができる職業だと思います！

【瀬戸山 雄之さんのプロフィール】

この現場での担当：現場代理人。主に工事現場監督を行っています。趣味は、“バイク”に“ゴルフ”といっぱいありましたが、現在はバドミントンの外部指導者(中学部)として、多いときは週7日(毎日)で、息子とみっちり練習に励んでいます。17時以降は練習の為、ほぼ残業していません。働き方改革を始め、働きやすい環境に感謝ですね!!

「仕事場は街が姿を変えていく最前線」

かわの **河野** よしのり **義範** 松浦建設(株)
入社約16年

工事名：令和元年度日南地区舗装
修繕外(その2)工事

●この仕事を何故、選んだ？

幼い頃から父親の背中を見て育ちました。屋外での仕事がしたかったのと、この仕事を受け継ぐものと思っていました。今は常務取締役です。

●この仕事のやりがいは？

ものが完成したとき、それが長年残っているのを見たときにやりがいを感ずります。凄い金額を扱い、担当(監理技術者)として出来るのは、この仕事しか無いと思います。串間市建設業協会の青年部長を任されていて、毎年、地元中学・高校生に出前講座を実施しています。子どもたちが興味を示してくれたときにも思いますね。

●現場での職場環境は？

「快適トイレ」の設置や作業服の支給を行っています。年1回ですが、社員旅行にも行っています。年に数回ですが、ゴルフコンペも開催しています。決算が良いときは、決算手当も出しています。

●就職に悩んでいる若者に一言

建設業では、多くの資格や免許取得が出来るので、もし、他業界に転職する場合でも有利だし、同業他社に移る場合でも有利です。
また、施工管理や技能士(路面標示、鉄筋、左官、型枠、とび等)など様々な職種があり、建設業に携わってからも、進みたい道を決められます。若い方が不足していて、重宝され、粗末にされません。



【河野 義範さんのプロフィール】
この現場での担当：監理技術者。
大学卒業後、入社し、現在、常務取締役。
趣味：工具類が好きでホームセンターで時間を潰すことが出来る。最近では自転車に、はまっている。
資格：1級土木施工管理技士、1級舗装施工管理技術者、1級建築施工管理技士、1級管工事施工管理技士、水産工学校士



【現場代理人の河野さんと出来形管理個所を協議する河野さん】



【クラック抑制シートの出来形を確認する河野さん】



【クラック抑制シートの出来形写真を撮影する河野さん】



【アスファルト打設状況を確認する河野さん】



【舗装面積の出来形を確認する河野さん】

「情熱から創造される道」

大和開発（株） ^{たかちほ}高千穂 ^{ゆういち}裕一（建設業に携わり約30年）

工事名：宮崎10号 都城道路2工区志比田地区下部工（A2）工事

●この仕事のやりがいは？

人との出会いを大事にしています。近所の方々が通り掛かりに声をかけてくれます。その際に「きれいにできたね。」などと言って下さいます。そんな時に一番達成感を感じます。

●現場をうまく進めるために気を配っていること

地域の方々と良くコミュニケーションを取ることを心がけています。一つの方法で、防音柵の歩道側に工事の方法と進捗状況をわかりやすく写真や図にして掲示しています。散歩で通りかかったときなどに説明すると、世間話などいろいろな話から、工事の一步踏み込んだ話まで、和やかに理解して頂けます。

若手育成という面では、現場の環境づくりを重視しています。現場事務所を民間のアパートやここの一軒家などを借りています。防犯面やトイレ、休憩室、冷暖房など、プレハブに比べると格段に快適に過ごせます。

その他では、いかにお金をかけずに創意工夫をするかです。足場の安全管理での反射テープ貼りやアイデア書き込みボードの設置、若者の教育日報、社内共有ホルダの活用、スパイダーマンの発明、コンクリート養生の工夫、（コンクリート二次製品と現場打ちコンクリートの収縮率の違いによるクラック発生の課題）など。

●ベテランの立場での若手指導

私たちは先が短いので、若者に託すしかないと考えています。ICT化といっても、人が主役です。現場の詰めの部分や細かい取り合い等は人でないと出来ません。協力会社や地域、部外の方々との調整など、ワンチームにならないと事故無く完成は望めません。人とのつながりを大事しながら、現場運営することを指導しています。

また、大きい工事であろうが、小さい工事であろうが、段取りはストーリー性を持って、どう自分がプランするか、そういう楽しみ方も教えています。

その他には、私たちは技術屋なので、どういう場面でも常に技術力を試されています。問題や課題が発生したときに、ありとあらゆる知識と情報を駆使し、解決策を提案できるそんな技術者になれるように指導しているところです。緊急時には、いかに自分のベストを尽くせるか、そんな議論も常々しています。



【施工業者と工程、現場の段取り、安全管理など細かく打ち合わせをする高千穂さん】



【現場事務所は賃貸一軒家。快適な環境はまるでオフィスのように！】



【施工管理にベテランの厳しい目が注がる】



【インタビュー中、身振り手振りて熱く語る高千穂さん】

【高千穂 裕一さんのプロフィール】

この現場での監理技術者。
趣味は写真撮影。大学時代は土木を専攻し、平成元年から建設業に携わる。大手ゼネコンに勤務したほか、鉄塔の建設にも従事。一時、建設業から離れて沖縄で“肉巻きおにぎり”の店を営む。その店には、プロボクシングの長谷川穂積選手やK-1選手の山本KID徳郁選手も来店。「行列のできる法律相談所」にも取り上げられたことも！様々な経験が深い見識につながっていることを感じます！

地域の方々とのコミュニケーションツールとして、工事の方法と進捗状況をわかりやすく写真や図にして掲示しています。

